

意見書案第 3 号

带状疱疹ワクチン接種への助成並びに定期接種化を求める  
意見書について

带状疱疹ワクチン接種への助成並びに定期接種化を求める意見書  
を別紙のとおり、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣  
及び厚生労働大臣へ提出するものとする。

令和 4 年 1 2 月 2 7 日 提出

尼崎市議会議員	東	浦	小夜子
同	辻		信 行
同	都	築	徳 昭
同	林		久 博
同	川	崎	敏 美
同	佐	野	剛 志

(別 紙)

带状疱疹ワクチン接種への助成並びに定期接種化を求め  
る意見書

带状疱疹は、過去に水痘に罹患した者が、加齢や過労、ストレスなどによる免疫力の低下により、体内に潜伏する水痘・带状疱疹ウイルスが再燃し発症するものです。

日本人では、50歳代から発症率が高くなり、80歳までに3人に1人が発症すると言われており、治療が長引くケースや後遺症として痛みなどの症状が残るケースもあります。

この带状疱疹の発症予防のために、ワクチンが有効とされていますが、費用が高額になることから接種を諦める高齢者も少なくありません。

带状疱疹による神経の損傷によって、その後も痛みが続く带状疱疹後神経痛と呼ばれる合併症に加え、角膜炎、顔面神経麻痺、難聴などを引き起こし、目や耳に障害が残ることもあると言われています。

よって、政府におかれては、一定の年齢以上の国民に対するワクチンの有効性等を早急に確認し、带状疱疹ワクチン接種への助成制度の創設や予防接種法に基づく定期接種とするよう、強く要望いたします。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出いたします。

令和4年12月 日

尼崎市議会議長

津 田 加寿男

衆 議 院 議 長	細 田 博 之	
参 議 院 議 長	尾 辻 秀 久	
内 閣 総 理 大 臣	岸 田 文 雄	様
財 務 大 臣	鈴 木 俊 一	
厚 生 労 働 大 臣	加 藤 勝 信	